

ピアノコンクールのアジア大会 南箕輪の小4・小林さん奨励賞



コンクールでの奨励賞を報告する小林さん

南箕輪村南部小学校4年の小林なゆ花さん(10)が、1月に川崎市で開かれた「第25回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA」アジア大会の小学3・4年生の部(110人出場)で奨励賞を受けた。さらに3、4日に東京都で開かれる「第14回日本ハッハコンクール」全国大会にも出場する予定だ。1月30日、村役場に藤城栄文村長を訪ねて報告した。

5歳上の姉の影響で、3歳からピアノを始めた。平日は3〜4時間、休日は6〜7時間練習をしている。ストリートピアノを弾くのも大好きで、旅先でよく弾くという。

シヨパンコンクールは年長と3年生の時も出場したが、全国大会を通過できなかった。今回は全国大会で金賞を受賞してのアジア大会初出場で、「すごくうれしかった」。アジア大会では全国大会と同じクログレスキの「シヨパン風マズルカ ホ短調」を演奏した。中盤の難しい指使いを乗り越えて曲を盛り上げられたといい、「これまでのシヨパンコンクールで一番上手に弾けた」と振り返った。

指導者になり、ピアノリストとしてYouTube配信もするのが夢。ハッハコンクールでは、小学3・4年で課題曲

が最も難しいC部曲に出場、金賞を目指す。藤城村長は「応援してくれるお父さん、お母さんと激励した。さんや先生への感謝を忘れず、これからも励んでほしい」と激励した。